



CAGLIERO 11

カリエロ



184 2024年 4月

サレジオ会宣教ニュース

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



友人の皆さん、

何の力もないように見える人でさえ、世界を変えることができます。全世界でなくとも、少なくともその一部分を。そのためにはさまざまな方法がありますが、どの場合も誠実さ、忍耐強さ、勇気が必要です。それは、どのような形で奉仕職を生きていようと (ad gentes すべての人へ、ad exteros 自国を出て、ad vitam 生涯をささげて)、すべての宣教師が持っている資質です。

私はグラフィック・デザインを通して、人々にドン・ボスコの考えや使命に親んでもらい、心をひきつけ、インスピレーションを与えることさえできることを喜んでいます。「百聞は一見に如かず」と言います。画像は大きな力を持つのです。実際に、言葉で表現するのが難しいと思われることも、くどくどとした説明無しに、一目で捉えられるように伝えることができます。

今日、それは文字通りの絵でさえなく、何かの象徴を視覚的な形で提供することであったりします。言葉を「イメージ・画像」に変換し、そこに喜び、創造性、深さ、美しさをこめ、言葉にならないものを語らせるのです。私の仕事、情熱は、それを実現させることです。

皆さんが、行っている活動、任された役目のうちに、同じ喜びを味わわれますように。すべての活動が皆さんにとって喜びでありますように。

Monica

■ ローマ本部宣教部門 協働者
グラフィック・デザイナー
マルティナ・モンチェコーヴァ

持続可能な全人的開発の促進



「開発」という言葉は、いくつかの意味を含んでいます。それは貧困や不平等を減らすことだけでもなければ、豊かさを蓄え、物やサービスをより多く享受できるようにすることだけでもありません。実利主義的な開発モデルは、自然をエネルギーと天然資源の無尽蔵な源と捉え、天然資源の過剰開発や化石燃料の集中的な使用、前例のないエコシステムの破壊による負の影響が容易に挽回できると、偽りの主張をします。(教皇フランシスコ、回勅『ラウダート・シ』23, 24, 106; ベネディクト十六世、回勅『真理に根ざした愛』11, 23, 29)

同様に、イデオロギーに基づいて神を拒絶する開発モデル、あるいは無関心という無神論によって形づくられる開発モデルは、創り主を忘れながら、人間らしい価値観も忘れてしまう危険があります。そのようなモデルは、全人的成長を達成するのに不可欠な、霊的、精神的な力をつける機会を人々から奪います。神無しの開発モデルは、人間のレベルにとどまる開発のために働くことに終始してしまいます。それは、人間が自分自身を救えると考える罠に容易に落ち込ませる開発モデルであり、非人間的な開発を促進する結果となってしまいます。

開発は、「真実」で、「全人的な」、「持続可能な」ものでなければなりません。すなわち、後に続く世代のため、神が造られたこの世界を世話しなければならない人間の、経済社会的、政治的、文化的、霊的な諸側面を考慮するものでなければならないということです。開発についてのこの全人的な見方は、カトリック教会の社会教説に根ざしますが、ほかの宗教、信仰の伝統と、また哲学や知恵のさまざまな伝統とも共有する見方です。

持続可能な全人的開発は、三つの原則の上に建てられます：人の尊厳、連帯、補完性です。**人の尊厳**は、人が神にかたどられ、神の似姿に造られたという確信に根ざします(創世記1・26)。**連帯**は、私たちが先の世代の後継者であること、先達の努力、また同世代の人々の努力の恩恵を受けていること、後に続く世代のため、神が造られた世界を世話するよう、呼ばれていることに根ざします。教会の社会教説の要の原則の一つである**補完性**は、適切な方法を通して、より高いレベルにあるものがより低いレベルへ支援を提供することです。その一方で、このことは、低いレベルでその力を持っていて行うべき決定を、高いレベルで行ってしまい、前者の機能を奪う、といったことをしないことが前提になります(カトリック教会のカテキズム1883)。

■ 宣教顧問

アルフレッド・マラヴィジャ神父, SDB

振り返りと分かち合いのために

■ 若者を誠実な市民、よいキリスト者として育成するとき、私はどのような開発モデルを使っているだろうか？

■ どうすれば、私たちの世話にゆだねられた人々の持続可能な全人的成長を育てることができるだろうか？



教育—女性の向上のための、最も力強い武器



シスターヴィヴィアンヌ、ご出身の地域における女性の状況をどのように見えていますか？

カビエ地方（北トーゴ）では女を「ハル」と言います。語源的には、「ハウ」と「リム」、「与える」、「水」という意味の言葉に由来します。「ハウ」はまた、「いのちを生み出す」という意味の「ルルウ」と結びついています。

基本的に女性は、いのちを生み出す者、この世にいのちをもたらす者と捉えられています。このことは、よく「ユウガオcalebasse」（訳注 ひょうたん。頭にのせて水などを運ぶ器として用いる）にたとえられます。いのちを運ぶ者としての固有のアイデンティティーに目を向けさせる象徴です。しかしながら、女性の重要性は、いわば男性との関係性において、男性に従属する性として賦与されるものになっています。女性の存在は、法的、政治的、宗教的（伝統的宗教）な決定権をもつ輪の中で疎外されてきました。女性は経済の領域でのみ、重要な位置を占めてきました。商業の分野で活動的だからです。教会において、女性は積極的に関わっています。典礼祭儀に熱心に参加し、教会の諸組織で数多くの奉仕に携わっています。

ここ何年か、男女ともにすべての人の教育を促進する運動の変革が進んでいます。トーゴは先端を行っていて、人口の50.7%を占める女性のうち、70%近くがリーダーを務めるか、管理職にあり、女性に能力や技能があることを裏付けています

教会や多くの社会において女性の役割や地位を向上させるため、最も大きな障害となっているのは何ですか？

多くの社会で、女性は男性との関係性において捉えられます。その結果、女性は自身を従属的な存在として捉えることを余儀なくされます。一般化したくはありませんが、女性の識字率の低さは、女性であることを肯定するのを阻む、酷い壁の一つだと思います。

この問題の解決に貢献するために、男性である私たちサレジオ会員は何ができると思いますか？

ネルソン・マンデラ氏によると、教育は、世界を変えるために用いることのできる最も強力な武器です。全人教育、学び、福音化の道が、社会性の観点のうちに、自らのアイデンティティーの実現へと方向づけられた自由な選択を促すものであるという意味で、サレジオの教育法、すなわち予防教育法は、典型的に女性的なスタイルをもっています。

男性である皆さんによる女性のための貢献は、尊厳において平等でありながら、男性と女性、それぞれを特徴づける違いの光に照らし、互いへの尊敬と真実な関係性を通した、それぞれ男性、女性としての自己理解の土台の上に人生の意味を築く、その力を育むことだと思います。



シスター
ヴィヴィアンヌ=ウエラ・マザロ・ヤカベレ、
FMA

私は**トーゴ**出身で、北トーゴ、カラ地方の民族、カビエ族の子孫です。第3の結婚で生まれた6人兄弟の3番目です。全部で14人の子どものいる、第3世代の家庭出身です。

2017年から、**コートジボワール**のドゥエクエでの教育、司牧の事業と共に働きました。現在、ローマの教皇庁立**アウジリウム大学**の教育学部でカテケージスと青少年司牧を学んでいます。



人口における女性の数

世界の人口は、**男性32億4800万人と女性32億1500万人**から成っています。

- **ロシア**は男性の割合が最も低く、女性100人に対し男性87人。
- **中国**は男性の割合が最も高く、女性100人に対し男性106人。
- 2020年 1月1日付で、**EU** 諸国には、2億1900万人の男性、2億2900万人の女性がいました。この数字は比率にすると、男性100人に対し女性104.7、すなわち、女性が男性よりも4.7%多いこととなります。



出典：www.treccani.it, www.istat.it

4月 サレジオ 宣教の 祈りの意向

女性の役割のために

セネガルのサレジオ会事業において、女性がより大きな役割を果たせますように。

女性の尊厳と女性の役割、貢献の豊かさが、あらゆる文化において認められ、世界のさまざまなところで女性を苦しめている差別が止むよう、祈りましょう。 | 教皇フランシスコの祈りの意向 |

セネガル
のために

